

授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：メディアアート（映画監督養成講座） ILAS Seminar:Media Art (Film Making)			担当者所属 職名・氏名	総合生存学館 特定教授 土佐 尚子		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール
開講年度・ 開講期	2018・前期	受講定員 (1回生定員)	15 (15) 人	配当学年	1 回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	情報メ303(情報処理室)			使用言語	日本語
キーワード	芸術映像表現 / 映画制作 / 物語技法 / 映像編集						
【授業の概要・目的】							
<p>人の心に訴える映像制作の研究、制作を目的として、人々の心に残る物語のしくみについて研究する。</p> <p>物語と言語の関係、語り部の記憶とはなにか、物語の母型「スターウォーズ」英雄伝説の三段構造 - その考え方に基づいて、実際に作品制作をする。</p>							
【到達目標】							
基本的な映像制作のスキルを身につける。							
【授業計画と内容】							
以下の要素について研究をしながら、映像作品を仕上げていく。							
1 ドラマは葛藤である							
2 観客の誘引・期待・満足							
3 ストーリー要素							
4 登場人物研究							
<ul style="list-style-type: none"> ・あなたの主人公は誰か？ ・認識的不協和音の理論 ・葛藤の焦点 ・主人公は何を望んでいるか？ ・基本的な必要性の等級 ・主人公が目的に到達するのを妨げているのは何か？ 							
5 物語の文脈と映像表現							
<ul style="list-style-type: none"> ・信頼性のコスモス ・文脈の要素 							
6 語り部の登場							
7 映像の編集							
8 映像の音楽と効果音							
ILASセミナー：メディアアート（映画監督養成講座）(2)へ続く							

ILASセミナー：メディアアート(映画監督養成講座)(2)

[履修要件]

映像制作とアートに興味があり、コンピュータの基本操作ができること。

[成績評価の方法・観点及び達成度]

レポート、作品制作、平常点の合計で評価を行う。詳細は授業中に説明する。

[教科書]

土佐尚子『カルチュラルコンピューティング』（NTT出版）ISBN:978-4-7571-0261-3

[参考書等]

（参考書）

授業中に紹介する

（関連URL）

<http://www.tosa.media.kyoto-u.ac.jp/index.j.html>

[授業外学習（予習・復習）等]

参考になる映像や映画、展覧会を見る。

[その他（オフィスアワー等）]

午後6時～7時